

平成27年度 財政公表

問い合わせ: 財政課
(☎51・2117)

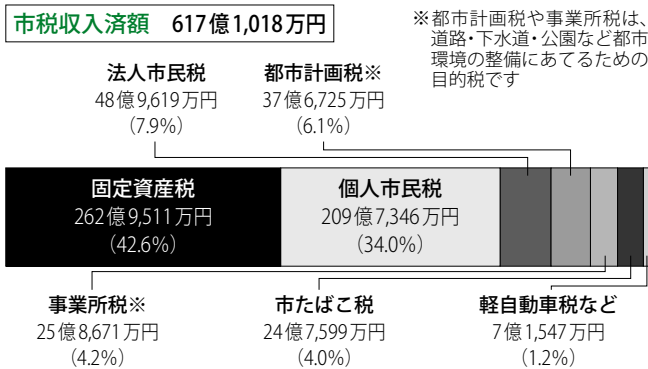
一般会計ってなに？

一般会計とは本市予算の中心となるもので、民生費・衛生費・土木費・教育費など、行政を運営するための基本となる諸経費を主なものとした会計です。

収入		
内訳	収入済額	収入率(%)
市税 ※図1	617億1,018万円	98.0
国庫支出金	162億6,372万円	83.6
地方消費税交付金	75億1,226万円	117.4
県支出金	53億8,853万円	63.7
諸収入	41億2,600万円	82.0
使用料及び手数料	26億8,439万円	88.3
地方交付税	19億717万円	97.7
その他(市債※図2など)	61億9,346万円	33.7
予算額	1,256億9,915万円	
収入済額	1,057億8,571万円	収入率 84.2%

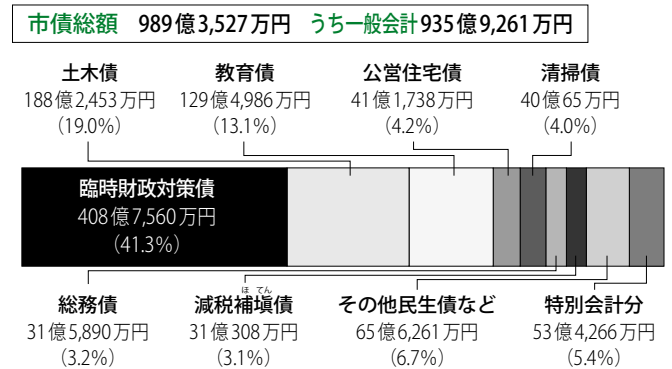
支出		
内訳	支出済額	支出率(%)
民生費	384億3,571万円	76.8
衛生費	117億8,168万円	84.1
公債費	107億4,079万円	99.5
土木費	103億8,012万円	63.2
教育費	98億2,540万円	78.0
総務費	81億6,025万円	66.0
消費費	32億2,476万円	92.1
その他(商工費など)	50億8,529万円	85.0
予算額	1,256億9,915万円	
支出済額	976億3,400万円	支出率 77.7%

■図1 市税収入の状況(平成28年3月31日現在)



市税は、一般会計の約5割を占めており、最も大切な財源となっています。平成28年3月31日現在の市税収入は、法人市民税が税制改正の影響により減少し、固定資産税が評価替えにより減少したことから総額617億1,018万円となり、前年度に比べ減少しています。

■図2 市債の状況(平成28年3月31日現在高)※企業会計を除く



市債は、将来にわたりみなさんが利用する道路や公園、学校などを整備するときに市が金融機関などから借り入れるお金のことです。返済は公債費として長期間にわたって行うこととなりますので、市では将来の財政負担が大きくなるように慎重に事業を選択し、計画的な借り入れを行っています。

これが豊橋市の財産です(平成28年3月31日現在)

土地増加分(0.2%増)は主に梅田川霊苑用地購入によるもので、建物増加分(0.05%増)は主に美術博物館の増築によるものです。

※()は前年比



土地
8,169,520㎡
(0.2%増)

建物
1,237,257㎡
(0.05%増)



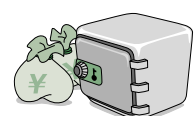
有価証券(株券)
22億2,023万円
(増減なし)

債権(貸付金など)
26億4,044万円
(3.6%増)



出資金・出捐金
15億1,640万円
(0.02%増)

主なもの
豊橋ステーションビル(株)、
(公財)豊橋市国際交流協会など



基金
143億668万円
(0.7%減)

主なもの
財政調整基金、
介護保険給付費等準備基金など

市では市政への理解を深めていただくため、「豊橋市財政状況の公表に関する条例」に基づき、年2回財政状況を公表しています。今回は平成27年度予算の執行状況などを、一般会計・特別会計・企業会計に分けてお知らせします。

※数値などは平成28年3月31日現在のもので、5月31日までは出納整理の期間がありますので決算とは異なります。なお、詳細についてはホームページでもご覧いただけます

特別会計ってなに？

特別会計とは使用料など特定の収入で特定の事業を運営する会計のことで、一般会計と区別して収支経理を行っています。

会計名	予算額	収入済額	収入率(%)	支出済額	支出率(%)
競輪事業	160億5,000万円	97億1,363万円	60.5	82億7,534万円	51.6
国民健康保険事業	406億1,905万円	363億7,173万円	89.5	373億6,603万円	92.0
総合動植物公園事業	23億7,924万円	6億5,040万円	27.3	17億7,013万円	74.4
公共駐車場事業	1億9,500万円	2億428万円	104.8	1億9,169万円	98.3
地域下水道事業	11億6,100万円	3億8,867万円	33.5	8億7,469万円	75.3
母子父子寡婦福祉資金貸付事業	5,300万円	6,118万円	115.4	4,740万円	89.4
介護保険	223億3,238万円	171億1,181万円	76.6	189億2,854万円	84.8
後期高齢者医療	69億3,300万円	31億22万円	44.7	65億7,362万円	94.8
合計	897億2,267万円	676億192万円	75.3	740億2,744万円	82.5

本市には8つの特別会計があり、企業会計を除く市予算額の約4割を占めています。

なお、総合動植物公園事業や地域下水道事業、後期高齢者医療では、一般会計からの繰入金などを5月末に収入することから、この時点での収入率が低くなっています。

企業会計ってなに？

企業会計とは独立採算制を原則とする会計で、水道料金や下水道使用料、診療収入などにより運営しています。ここでは予算の執行状況により各企業の財政状況などを紹介します。

水道事業

給水人口 37万6,266人
給水戸数 16万2,878戸
普及率 99.65% (0.04ポイント増)

下水道事業

排水人口 26万9,734人
排水面積 4,432ヘクタール
普及率 71.44% (0.16ポイント増)

病院事業

入院患者数 延べ25万8,733人
外来患者数 延べ48万4,692人
(入院0.09%増、外来0.07%増)

※()は前年比

■予算の執行状況

企業会計は、収益的収支と資本的収支で成り立っています。なお、資本的収入が資本的支出に対し不足する場合は、内部留保資金を補填財源として補填します。

<収益的収支>

企業の経営活動に伴い発生する収入(収益)と、それに対応する支出(費用)です。

収入の主なもの

水道料金、下水道使用料、診療収入

支出の主なもの

職員人件費、施設の維持管理費、支払利息、固定資産の減価償却費

<資本的収支>

施設や設備の整備拡充・改良を行うための収入および支出です。

収入の主なもの

企業債、一般会計出資金、負担金

支出の主なもの

資産の取得費、企業債の元金償還金

(税込み)

会計名	区分	予算額	執行額
水道事業	収益的	収入 67億4,200万 円	66億2,011万6,668円
		支出 62億 円	59億5,795万9,868円
	資本的	収入 9億8,900万 円	9億9,851万5,444円
		支出 27億8,600万 円	26億694万5,460円
		補填財源 17億9,700万 円	16億843万16円
下水道事業	収益的	収入 79億4,000万 円	76億5,265万2,720円
		支出 80億9,400万 円	76億5,111万2,441円
	資本的	収入 36億4,680万 円	29億169万3,265円
		支出 61億1,247万5,000円	51億3,630万9,688円
		補填財源 24億6,567万5,000円	22億3,461万6,423円
病院事業	収益的	収入 285億4,500万 円	275億3,329万5,973円
		支出 278億3,711万3,000円	259億8,166万4,749円
	資本的	収入 30億5,150万 円	30億5,392万4,770円
		支出 44億6,404万4,000円	44億810万8,293円
		補填財源 14億1,254万4,000円	13億5,418万3,523円